

# 校長室だより

=自分でGO!自分がGO! =



令和5年7月20日

第4号

白井市立白井第一小学校  
校長室

暑い中ですが、子どもたちは熱中症を予防しながら、元気に過ごしています。  
明日から、夏休みです。4月からこれまで、保護者の皆様の御理解と御協力を本当に  
ありがとうございました。

9月に元気な子どもたちに会えることを楽しみにしています。

## 充実した夏休みを

本校では、自主性を高めるため「自分でGO!自分がGO!」を合言葉で取り組んでいます。夏休みは、家庭で過ごす時間が多くなりますので、「自分で」ということがとても大事になってきます。休みをどのように過ごすか、一度お家で話し合っていたいただきたいと思います。夏休みは、学習でわからなかったことを克服したり、学習の定着のために必要な練習をしたりするチャンスです。

個人面談の中で、お子さんが夏休みに取り組んでほしい事等がありましたら、是非声掛けをお願いします。

また、学習面とともに、家の中の自分の役割を自覚できるようお子さんと相談して、毎日のお手伝いをきめてはいかがでしょうか。

そして、頑張っている時には、ほめたり認めたりしてほしいと思います。子どもが何かしてくれた時には「ありがとう」と気持ちを伝えてあげてください。子どもは、保護者の方に認めてもらうのが、一番うれしいです。

## 夏休み



## 個人面談ありがとうございました

お忙しい中、個人面談においでいただき、ありがとうございました。

短い時間でしたが、学校の様子、お子さんのがんばり、家での様子等、担任と共有できたかと思います。是非、家でも、「先生がこんなこと言っていたよ」「こんなことほめていたよ」と話題にしていたいただきたいと思います。

今後も、心配なことがありましたら、早めにご相談ください。



## 生成AIの利用に関する 暫定的なガイドライン

文部科学省から、このようなガイドラインができました。

一律に禁止や義務づけを行うものではなく、一定の考え方として国が示したものです。

生成AIとは「統計的にそれらしい応答を生成するもの」で回答の誤りを含む可能性があります。

夏休みの宿題に使う人もいるのではないかとされていますが、そのまま自分の成果物として提出しては不当な行為に当たることもあります。何よりも宿題をやることでの学びが得られず、自分のためにならないことが大きな問題だと思っています。



## SOS の出し方教育

先日、SOS の出し方教育の研修を受けました。

SOS の出し方教育とは、子どもたちが困ったり、悩んだりした時に、早めに SOS を周りの大人に出すようにする教育です。「困った」「苦しい」「助けて」と周りの大人に伝えていいんだよ。という教育です。

また、同時に私たち大人も、子どもたちが SOS を出した時には、しっかりキャッチして受け止めていかなければいけません。そういう意識を更に高めていかなければならないと感じました。

9月1日は、1年間で一番自殺する人が多い日です。

私たち教員も、子どもをしっかり見ていかなければと思っています。



## 一小的きらり

朝、登校時に白井自治会の皆さんが道路にたって、子どもたちを見守ってくれました。ありがとうございます。

「子どもたちのあいさつがよくなったね」と、ほめていただきました。



白井自治会の方々が、夏休み前後の4日間、  
6ヶ所に立って、子どもたちを見守ってくれています